

北海道大学病院に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当院における処方時の相互作用警告機能の実際と検証

【研究機関】 北海道大学病院医療安全管理部

【研究責任者】 南須原 康行（医療安全管理部・准教授）

【研究の目的】 当院では、電子カルテシステムを用いており、医師が処方を行う際に、処方した複数の薬が相互作用（お互いの薬が作用を強めあったり、弱めあったり、副作用が増強したりすること）を生じる危険がある場合に、自動的に警告を発します。一方、治療上必要な場合には、相互作用を考慮した上で、敢えて処方を行う場合もあります。また、警告機能については、過剰になりますと業務に支障が生じたり、却って危険性が増すこともあるとの報告もあります。

そこで、当院における過去の処方内容を抽出し、警告が出された場合の医師の対応、さらに、治療上必要とされて処方が行われた場合に、実際に相互作用が発生したか否かについて調査を行うことを計画しました。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2008年3月1日から2012年3月31日の間に北海道大学病院にて内服処方を受け、薬物相互作用についての警告システムが稼働した全ての患者さん。入院・外来は問いません。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、診察内容、検査内容・結果、処方内容

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】 札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院医療安全管理部 担当医師 南須原 康行（なすはら やすゆき）

電話 011-706-7030 FAX 011-706-6996